

法定協議会を活用できる地域共創コーディネーター育成事業(愛知県名古屋市)

事業実施主体

【共創プラットフォーム】

法定協議会を活用できる地域共創コーディネーター育成事業

【事業主体】 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学

地域課題

- 地域公共交通政策の要は地域交通法の法定協議会。そこで策定される地域公共交通計画の有効性・実施可能性が肝要。
- 現状では、協議会をコーディネートする人材が極めて不足。
- メンバーの役割認識が不十分なため、地域公共交通の充実やまちづくりとの連携にうまく結びついていない。

実証事業の内容

全国の大学・高専で公共交通政策にかかわる教員が集まり、交通事業者・自治体・コンサルタント等、政策推進を担う人をメインターゲットとし、共同で指導する体制を試行する。

- ① リレーレクチャー：公共交通に関する多角的な知識、協議会の進め方や活用方法を指導。
- ② フィールドスタディ：講師陣が参画する協議会を題材に、会議の傍聴や現場見学、関係者との議論などに参加する実習を行い、課題設定から事業提案までのプロセスを体得。
- ③ ディスカッションサロン：法制度や新技術に関する理解を深めるとともに、参加者間のネットワーク構築を促進。

今後の展開

今回の実証を踏まえ、人材育成プログラムの本格実施に向けた見直しを図る。1)フィールドスタディをベースに高度なスキルを習得、2)オンデマンド形式の社会人向けノンディグリープログラム、3)社会人向け履修証明プログラムの開講、等への発展を検討。

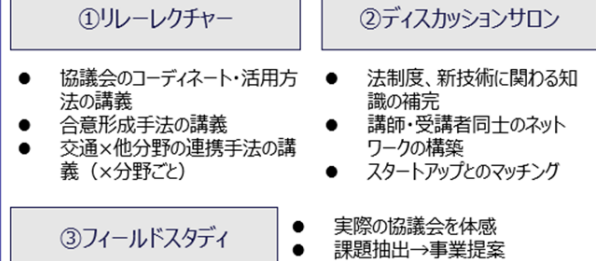
事業実施地域・手順

- 名古屋大学での対面講義を中心にオンラインでも受講可
- 各地の地域公共交通会議・協議会への参加で実践演習
- 講師を囲んでのディスカッションサロンにて交流促進

講座企画

- 交通×他分野の整理、担当講義の分担
- 受講生募集

講座実施



フォローアップ

- 提案された事業に対するフィードバック
- 内容に応じて、実際の協議会の現場へ活用

事業スケジュール

項目	実施主体	時期					
		9月	10月	11月	12月	1月	2月
補助金交付申請	名大	●					
企画・受講生募集	名大	●	●				
リレーレクチャー	名大		●	●	●		
フィールドスタディ	名大					●	●
ディスカッションサロン	名大		●	●	●	●	●
実績報告	名大						●